

# 明治村 だより

## 夏号 Vol. 36

### 目次

- 明治村 村長就任ご挨拶  
心がうるおう明治村 小沢昭一 ……2
- 明治の機械 打綿機 ……4
- 企画展「祈りの形と美—郷土人形展」 ……4
- 多彩な各種「建物案内」のご紹介 ……5
- 夏の明治村—催しものご案内 ……6
- A La Meiji-mura ……7

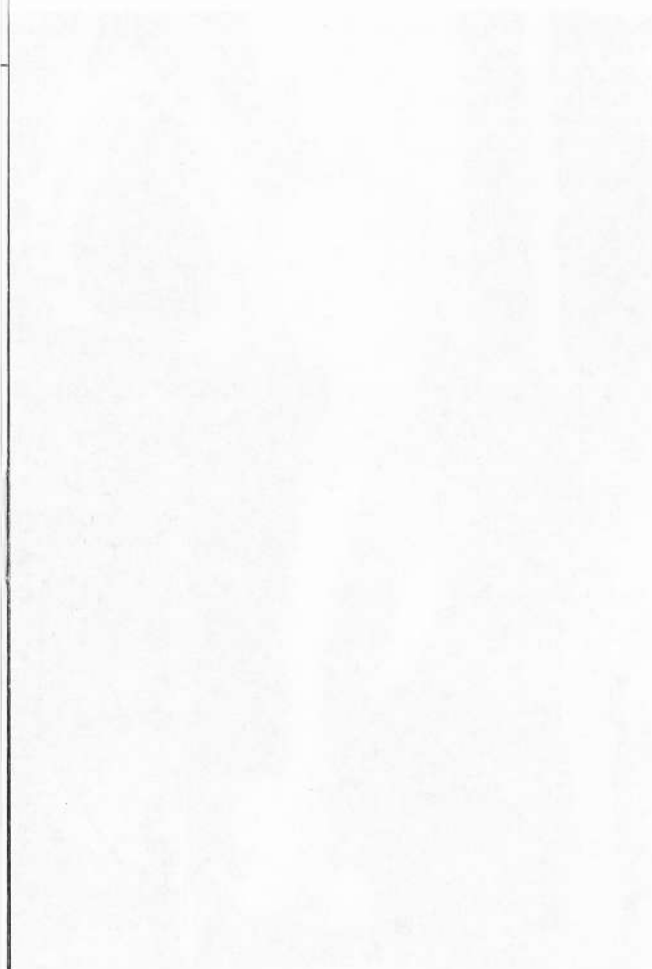
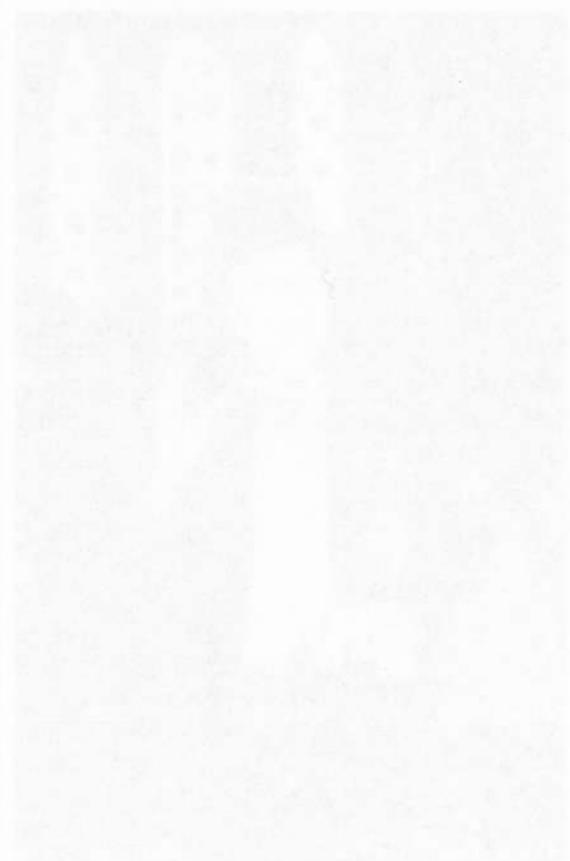


- 5JH 51番地-67番地**
  - ① 聖ザビエル天主堂
  - ② 金沢監獄正門
  - ③ 小那沙美島燈台
  - ④ 天童眼鏡橋
  - ⑤ 隅田川新大橋
  - ⑥ 大明寺聖/ウロ教会堂
  - ⑦ 川崎銀行本店
  - ⑧ 皇居正門石橋飾電燈
  - ⑨ 内閣文庫
  - ⑩ 東京駅警備捜査派出所
  - ⑪ 前橋監獄雑居房
  - ⑫ 金沢監獄中央看守所監房
  - ⑬ 宮津裁判所法廷
  - ⑭ 菊の世酒蔵
  - ⑮ 高田小照写真館
  - ⑯ 名鉄倉庫支店(岩倉ホール)
  - ⑰ 帝国ホテル中央玄関(ポーツマス条約調印テーブル)
- 4JH 34番地-50番地**
  - ⑱ 第四高等学校武術道場「無声堂」
  - ⑲ 日本赤十字社中央病院病棟
  - ⑳ 歩兵第六聯隊兵舎
  - ㉑ 名古屋衛戍病院(敷設跡)
  - ㉒ シアトル日米福音教会
  - ㉓ プラリル移民住宅
  - ㉔ ハワイ移民集会所
  - ㉕ 六郷川鉄橋
  - ㉖ 尾西鉄道蒸気機関車1号
  - ㉗ 蒸気機関車12号・9号・二等客車
  - ㉘ 鉄道新橋工場(機械部)リング精紡機(重要文化財)菊花御紋章付平判盤(重要文化財)
  - ㉙ 工部省品川硝子製造所
  - ㉚ 宇治山田郵便局(重要文化財)
  - ㉛ 本郷喜之床
  - ㉜ 小泉八雲避暑の家
  - ㉝ 呉服座(重要文化財)
  - ㉞ 半田東瀛
- 3JH 24番地-33番地**
  - ㉟ 京都市電
  - ㊱ 北里研究所本館(医学館)
  - ㊲ 幸田露伴住宅「蝸牛庵」
  - ㊳ 西園寺公望別邸「坐漁荘」
  - ㊴ 茶室「赤染庵」
  - ㊵ 品川燈台(重要文化財)
  - ㊶ 豊島燈台附観音舎(重要文化財)
  - ㊷ 長崎居留地二十五番館
  - ㊸ 神戸山手西洋人住居
  - ㊹ 宗教大学車寄
- 2JH 14番地-23番地**
  - ㊺ 千早赤坂小学校講堂
  - ㊻ 第四高等学校物理化学教室
  - ㊼ 東山製薬役所(重要文化財)
  - ㊽ 清水医院
  - ㊾ 東松家住宅(重要文化財)
  - ㊿ 京都市中井酒造
  - ㊽ 安田銀行会津支店
  - ㊽ 札幌電話交換局(重要文化財)
  - ㊽ 蒸気自動車(鉄道記念物)
  - ㊽ 京都七條巡査派出所
- 1JH 1番地-13番地**
  - ㊿ 第八高等学校正門
  - ㊿ 大井牛肉店
  - ㊿ 三重県尋常師範学校蔵持小学校
  - ㊿ 近衛局本部分寓舎
  - ㊿ 蔵持小学校
  - ㊿ 聖三十八教会堂(重要文化財)
  - ㊿ 学習院長官舎
  - ㊿ 西郷從道邸(重要文化財)
  - ㊿ 森鷗外夏目漱石住宅
  - ㊿ 東京盲学校車寄
  - ㊿ 二重橋飾電燈
  - ㊿ 鉄道局新橋工場
  - ㊿ 明治天皇冠道皇太后御料車(鉄道記念物)
  - ㊿ 三重県庁舎(重要文化財)

★毎週土曜日は、小・中学生の入村料が無料になります。

「明治村 だより」 第37号発行のお知らせ  
 発行時期 平成16年9月(予定)  
 申込方法 「明治村だより」第37号ご希望の旨及びご住所・お名前を明記の上、送料140円の切手とともに封書にてお申し込み下さい。

平成16年7月10日発行  
 「明治村だより」第36号(平成16年 夏)  
 発行 博物館明治村  
 〒484-0000 愛知県犬山市内山一番地  
 電話 (0568) 67-0314  
 ◎ホームページ <http://www.meijimura.com>  
 製作 大日本印刷株式会社



打綿機 (三ッ行燈)

ガラ紡績機は臥雲辰致の発明によるもので、この発明により綿から糸を紡出する効率は非常に高くなるという、当時としては画期的な機械でした。

しかし、ガラ紡績機に供給する綿は旧来の綿打ち弓を用いて行なうことがほとんどでした。今回ご紹介する打綿機は「三ッ行燈」ともよばれ、ガラ紡績機に供給する綿を打つ機械です。

明治二十一年に、時計製造なども行なっていた岡崎の発明家・中條勇次郎が旧来の綿打ち弓を用い、人力ではなく機械で作業を行なえるように考案したのがこの「三ッ行燈」です。「三ッ行燈」の名は灯火具の「行燈」様のものが三つ中に組み込まれていることから名付けられています。



それまで手作業では一日二貫目の綿しか打てなかったのが、三ッ行燈では五倍の十貫目ほどの綿を打つことができるとなりました。三ッ行燈が考案された明治二十一年の岡崎は「産業革命」の様相を呈したと語られています。

この発明が契機となり、ガラ紡績機の製造に携わっていた岡崎材木町の加藤文治郎、岡崎六供町の石川英治、額田郡伊賀村(現岡崎市)の中野製伊藤磯左衛門らによって打綿機の改良が重ねられ、以後、岡崎では近藤角三郎の「七ッ行燈」、鈴木次三郎の「廻切製綿機」などが次々と開発されました。そのため「三ッ行燈」は、後発の機械に次第に主役の座を追われ、明治末年から姿を消しはじめていきました。

ガラ紡績機による生産体制が整えられたのと時を同じくして西洋式紡績技術による、大型洋式紡績工場が各地で設立され、ガラ紡績機による紡績は一時衰退しました。しかしガラ紡績機による紡績は、洋式紡績とは競合しない太糸・特殊糸の生産や、洋式紡績により発生する屑綿(落綿)を使用するなど新たな局面を開いてきました。また、第二次世界大戦後、日本国内の物資、特に衣料品が不足した際には再びガラ紡績を行なう工場が増加し、急増する需要に応えてきました。戦後の高度経済成長期を経て、ガラ紡績機による紡績はほとんど行われなくなってきましたが、最近ガラ紡績機で紡出された糸を用いた繊維製品が環境に優しい、糸の太さが均質ではありませんがぬくもりを感じるなどの理由で脚光を浴びています。

参考文献

※鈴木次三郎家に伝わる「ガラ紡機の沿革」(昭和十七年十月)

※岡崎とガラ紡工業(昭和四十二年五月)

多彩な各種「建物案内」のご紹介

予約・お問合せは TEL 0586-67-0314  
明治村のホームページからも予約できます。  
www.meijimura.com

5丁目 ガイドツアー

(所要時間約30分)  
Aコース 出発時間/10:50 13:30  
集合場所/帝国ホテル中央玄関 (5丁目67番地)  
Bコース 出発時間/11:20 14:00  
集合場所/聖ザビエル天主堂 (5丁目51番地)

帝国ホテルガイドツアー (5丁目67番地)

時間/10:30 10:50 11:10 13:10  
13:30 13:50 14:10 14:30  
アメリカ人建築家フランク・ロイド・ライトが設計した最高傑作「帝国ホテル中央玄関」の内部を詳しく解説します。



4丁目 ガイドツアー

(所要時間約30分)  
出発時間/10:30 13:00  
集合場所/京都七條巡査派出所 (2丁目23番地)

「呉服座」〈重要文化財〉

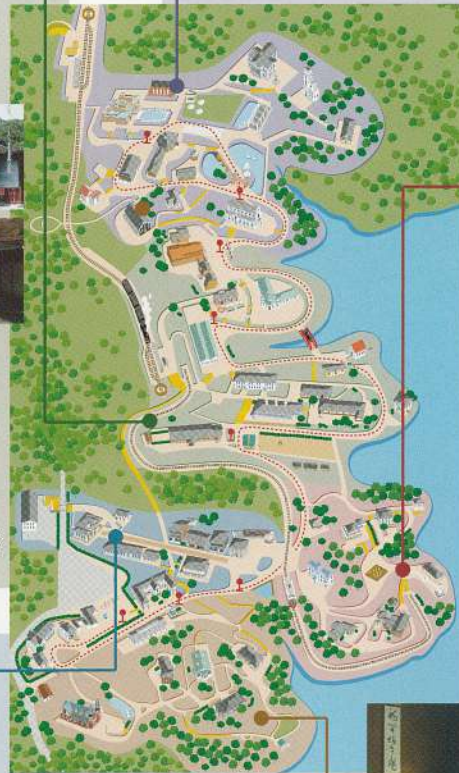
(4丁目49番地)  
(所要時間約15分)  
時間/11:00 12:00 13:00  
14:00 15:00

江戸時代以来の伝統建築の名残を留める大阪に建てられた芝居小屋。普段は見ることのできない奈落などをご案内します。



蒸気ハンマーの実演

鉄道新橋工場(機械館)  
(4丁目44番地)  
時間/11:30 14:00  
高さ6メートル、総重量30トンの蒸気ハンマーの実演と、重要文化財に指定された機械2機を含む貴重な明治期の機械類の説明を行なっています。



3丁目 ガイドツアー

(所要時間約30分)  
出発時間/10:30 13:30  
集合場所/京都七條巡査派出所 (2丁目23番地)

「西園寺公望別邸 坐漁荘」

(3丁目27番地)  
(所要時間約15分)  
時間/11:00 11:20  
11:40 13:00  
13:20 13:40  
14:00 14:20

西園寺公望が政界を引退したのち、静岡の興津に建てた別邸。二階座敷の障子を明け放つと、遠い山並みを背景に入鹿池が見渡せます。



幸田家訪問 幸田露伴住宅「蝸牛庵」

(3丁目26番地)  
蝸牛庵では、ボランティアガイドが幸田家の住人として、訪れたお客様をお招きし、ご案内します。



2丁目 ガイドツアー

(所要時間約30分)  
出発時間/10:00 11:00 13:00  
集合場所/正門前ボランティアブース (1丁目1番地)

「東松家住宅」〈重要文化財〉

(2丁目18番地)  
(所要時間約15分)  
時間/11:00 11:20 11:40 13:00  
13:20 13:40 14:00 14:20

名古屋堀川沿いに建てられた商家。二階には露地のみたてた廊下に待合、茶室が設けられ、名古屋の商家の高尚の程を感ぜさせる空間が広がります。



1丁目 ガイドツアー

(所要時間約30分)  
出発時間/10:30 11:30 13:30 14:20  
集合場所/正門前ボランティアブース (1丁目1番地)

「西郷従道邸」〈重要文化財〉(1丁目8番地)

(所要時間約15分)  
時間/11:00 11:20 11:40 13:00  
13:20 13:40 14:00 14:20

西郷隆盛の弟である従道が東京上目黒に建設した本格的な接客用洋館。室内には明治時代の貴重な資料である家具、調度品が置かれ、椅子に座って明治の洋館の雰囲気を感じていただくことができます。



予約制のガイド

●予約制ガイドツアー

10名様以上の団体のお客様を対象としたボランティアガイドツアーです。ボランティアガイドとともに、明治村の貴重な建造物をもう一步踏み込んで見学してみませんか? 所要時間は約1時間~1時間30分で、モデルコースもいろいろ取り揃えています。(ガイド料は無料、ただしボランティア交通費としてボランティア1名につき1,000円が必要となります)(申し込みは7日前までに)

●プレミアムガイドツアー

電動車を利用した、学芸スタッフによる詳しい案内付きで明治村を巡るガイドツアーです。電動車を使って村内を移動するため、天候に左右されることもなく、広い村内を楽々移動することができます。またお客様の目的に合わせたルート設定もおこなえ、限られた時間の中で広い村内を効率よく見学することができます。(申し込みは2日前までに) 料金は4名様まで10,000円、5名様12,000円、6名様14,000円。入村料別、所要時間は1時間30分。

企画展 7月18日(8月29日) 三重県庁舎1階特別展示室  
祈りの形と美 郷土人形展

江戸時代末から明治時代にかけてつくりだされた郷土人形。単なる置物ではなく、人々の祈りが込められたもので、身近にある素材でつくられ、風土に育まれてきたものです。今回は約一万点の館蔵郷土玩具コレクションの中から、郷土色豊かな人形をご紹介します。



三春張子 (福島)

三次土人形 (広島)

相良土人形 (山形)

稲畑土人形 (兵庫)

相良土人形 (山形)

三春張子 (福島)

三河土人形 (愛知)

# A La Meiji-mura



2階 バルコニー天井



1階 食堂 (現 ティールーム)

西郷従道邸の一階の食堂はティールームとして営業しています。ヨーロッパの産業革命をしのばせる、鉄の型押し天井を見ながら一度お茶でもいかがでしょうか？

※「のろ」セメント・石灰・プラスチックなどをただで練ったペースト状のもの。

## 鉄の型押し天井

西郷従道邸(十目番地)は、フランス人レスカスの設計により建築されたと推測されています。

一階の食堂(現在 ティールーム)と、二階の円弧を描いて張り出したバルコニーの天井は、石彫か木彫に塗料が塗られた様に見えますが、実は型押し鉄板が用いられています。上に塗られているのは「のろ」と言う塗料で、太陽光を反射することから地中海沿岸の住宅などによく用いられています。室内で用いられているのは灯りを天井に反射させ、室内を明るく見せることを意識しているのでしょう。全く鉄が使われている様に見えません。

西郷従道邸建築当時(明治十年代)の日本では、鉄は主にクワやスキ等の農具に使われ、庶民にも普及していませんが、建築物の装飾品などに用いることができる良質で大量な鉄を作る技術はありませんでした。しかし西洋では産業革命により機械が発明され、良質な鉄の大量生産が可能となり、石彫・木彫などの装飾品を鉄で代用するようになり、また同時に鉄・機械製品の輸出が盛んになりました。明治村内の「鉄道寮新橋工場・機械館」(4丁目44番地)の建物もその影響を受けた一つです。このような背景から、西郷従道邸の型押し鉄板は産業革命の進んだヨーロッパで造られ日本に輸入されたもので、日本にとって当時は大変高価な物であり、デザインについても当時の西洋の特徴がよく出ています。

## 2点の刺繍絵

西郷従道邸(十目番地)の食堂には、四代目飯田新七の作品とされている二点の「刺繍絵」が飾られています。これらは明治宮殿の壁面を飾っていたものです。

初代飯田新七は高島屋の創設者、そして三代目は飯田家歴代の中でも最も美術を愛好し、次の四代目は後を継いだ頃からすでに京都実業界や各界名士と交流が深く、京都の誇る美術工芸を海外に輸出したいと考え、明治二十二年にはパリ万国博覧会の視察を兼ね渡欧しています。

高島屋は出品人飯田新七の名で国内外の博覧会に出品し、一九〇〇年パリ万国博覧会で名誉大賞受賞、第五回内国勸業博覧会(明治三十六年)で名誉金牌受賞をはじめ、数々の博覧会で受賞し高島屋飯田新七の名を高めました。

明治二十年には宮殿造営の御用命を賜り、明治三十年には宮内省御用達となり、明治三十九年には東京御所造営局より赤坂離宮の内部装飾の御用命を受けるまでになりました。また、明治三十五年には東京美術協会へ出品し一等賞金牌を受賞した刺繍額は宮内省御買上となりました。美術に貢献し、力を注いだ二代・三代・四代新七は博覧会における審査員や評議員の任命を幾度となく委嘱されることとなりました。

この二点の四代目新七の刺繍絵は「日本刺繍」という技法で作られています。「手刺繍」には「フランス刺繍」と「日本刺繍」があり、「フランス刺繍」は木綿の布に木綿の糸で、「日本刺繍」は絹の布に絹の糸で刺します。両者には光沢や糸の太さ等の違いがあり、日本刺繍はとて



菊花鶴図



四季草花図

## ローマの祈り

入鹿池を見おろす小高い丘の上に、八角形の二つの尖塔が印象的な、聖ヨハネ教会堂(十目番地)があります。明治四十年(一九〇七)京都の河原町通五條に建てられた教会で、教育と伝道に従事した後、建築家として活躍したアメリカ人J・M・ガーディナーの傑作です。二階に礼拝堂があり、一階は聖ヨハネ幼稚園や、日曜学校に使われていました。

入り口から、両脇にある階段を上がって堂内に入ると、側壁にアーチ型の凹みが四つあります。この凹みは、壁龕、ニッチ(Niche)などと呼ばれるもので、この教会のニッチには、何も置かれていませんが、特に目的を感じられないこの凹みは、何故造られたのでしょうか。

キリスト教が生まれて間もない頃には、悲しい迫害の歴史がありました。彼等は、死後復活するという考えから、火葬ではなく土葬を望みましたが、当時のローマでは、衛生上の理由で市内での土葬が許されず、市壁外に「カタコンベ」と呼ばれる一大地下墓場が掘られ、通路の側壁の凹み(ニッチ)に、死者が埋葬されていました。多くのカタコンベには、聖人も埋葬されていた為、巡礼の地として尊重されていました。

三二三年、あの有名な「ミラノ勅令」が発せられると、キリスト教徒のミサも公に認められ、そのための建物も、建築することが可能になりました。その後、多くの聖人の遺体や遺骨が市壁内の教会に移され、祭壇の地下や、ニッチに納められました。

カトリック教会のニッチには、聖書にまつわるフレスコ画が描かれたり、信仰の象徴として、美しい聖像が置かれたりしています。しかし、この建物は華美な装飾のないプロテスタント教会です。また、二階小屋裏部分を礼拝堂にしている三廊式教会堂であるため、側廊に面して設けたニッチは、奥行きが浅く、祭壇として十分な機能することができません。デザイン的にニッチを設けることで、側壁に変化を持たせていると考えられます。聖遺物やマリア像を置く窪みであったニッチが、建物を装飾する凹みへと変化しているのです。



聖ヨハネ教会堂のニッチ

## 鉄の型押し天井

西郷従道邸(十目番地)は、フランス人レスカスの設計により建築されたと推測されています。

一階の食堂(現在 ティールーム)と、二階の円弧を描いて張り出したバルコニーの天井は、石彫か木彫に塗料が塗られた様に見えますが、実は型押し鉄板が用いられています。上に塗られているのは「のろ」と言う塗料で、太陽光を反射することから地中海沿岸の住宅などによく用いられています。室内で用いられているのは灯りを天井に反射させ、室内を明るく見せることを意識しているのでしょう。全く鉄が使われている様に見えません。

## 飲食

### インペリアルビアガーデン

ライトアップされた帝国ホテル中央玄関前にオープンするビアガーデンです。

## 監獄レストラン(前橋監獄雑居房)

名古屋で注目の店「ひもの家・火場所」が、期間限定でオープンします。監獄内で味わう食事をお楽しみください。



## 夏の明治村

### 明治の夏の暮らし

村内各所の建物で夏、を涼しく過ごす工夫をこらした明治時代の生活空間を再現します。

森鷗外・夏目漱石住宅 幸田露伴住宅「蝸牛庵」ほか

### 明治の涼霧

涼しさいっぱいの涼霧で夏の暑さをしばし忘れてください。

帝国ホテル中央玄関前  
森鷗外・夏目漱石住宅前  
札幌電話交換局横

### 盛夏の味覚

夏ならではの味覚を盛り込んだ夏限定のメニューが勢ぞろい。

デンキプラン「汐留バー」 和食処「碧水亭」 洋食屋「浪漫亭」

## 宵の明治村

8月7日(土)～15日(日)

21時まで開村(荒天時は延長開村中止)

期間中は浴衣姿の女性は終日入村無料、男性は割引料金でご入場いただけます。

## 散策

### 幻想的な夜の明治村

建物・街並みがライトアップされ、電飾京都市電・ボンネットバスが村内を走りまわります。



## イベント

### 音と光のスペクタクルライティングショー



色鮮やかなムービングライトを使用したライティングショーです。

19:30～ 19:50～  
20:10～ 20:30～ 帝国ホテル中央玄関前

### 花火競演

宵の明治村の思い出に、鮮やかな花火の競演をお楽しみ下さい。

20:40～ 帝国ホテル中央玄関前

## 明治村トリエンナーレ'04

## 芸能・芸術祭

11月30日まで

## 芸能・芸術祭 参加者募集

村内の歴史的建造物を会場として、プロ・アマ問わず様々なジャンルの芸能・芸術を発表してみませんか。

### ◆開催期間

11月30日までの明治村トリエンナーレ'04「第1回 芸能・芸術祭」開催期間中

### ◆応募資格

年齢、プロ・アマは問いませんが、内容が明治村の雰囲気と損なわないものであることが原則です。

### ◆応募方法

芸能・芸術祭参加希望の旨と、ご住所、お名前、お電話番号、予定している内容をお知らせ下さい。募集要項と申込用紙を郵送させていただきます。詳しい内容、申込みは明治村のホームページ(meijimura.com)でも受付けております。

博物館明治村 TEL.0568-67-0314

## 呉服座公演

### 吉本興業による芝居「吉本純情笑学校」開催中

吉本の芸人たちが、明治村にある建物の住人に扮し、明治を舞台に繰り広げる笑いと涙の人情ドラマです。

会場 呉服座(4丁目49番地)  
観劇料 お1人様500円(小学生以下)  
公演時間 11:30～、12:30～、13:30～、  
14:30～、15:30～  
8月7日～15日は18:00～、  
19:30～を追加公演

※催事は都合により変更する場合がありますので、詳細については事前にお問合せ下さい。